

# 社会福祉法人 落穂会

## 旭福祉センター・第二旭福祉センター

### 平成31年度事業計画書

第二旭福祉センター 施設長 水流 健一

#### (1) 職員必携の活用・・・**職場改善2部会**

- ① 朝礼及び職員会議の場を活用し、職員必携の読み込みを行う。
- ② 職員必携に関する具体的題目を年3回挙げ、感想文を提出する。  
以上、これらを実施することにより職員必携の理解度を深める。

#### (2) 地域密着型施設としての活動を推進・・・**園田統括主任・地域貢献委員会**

今年度も岡之原町内会の3班と10班の受け入れを実施予定。また、棒踊り保存会への出席を含め地域に密着した施設を目指し、積極的に地域行事や地域活動に参加する。また、各部署(入所施設・第二作業所・楓 NODOKA・各グループホーム)は、それぞれの部署において近隣住民との交流を深め、地域が抱える課題の把握に努める。

#### (3) 人材育成（職員育成制度の円滑な実施）・・・**瀬戸口・塩屋・杉田(主任チーム)**

- ① 作業班別育成シートの運用について、全作業班の育成シート運用を確実に実施する。また、実施状況の確認と今後の方策について作業委員会・育成担当職員との間で協議(31年10月以降に予定)し、継続的な育成シートの運用を図る。
- ② 新人育成システムについて、特に入職直後から1年間のカリキュラムを確実に実施する。また、チューター制度の実施及び実施後のフォローアップ研修を確実にを行い、経験の少ない新人職員のケアと資質の向上を図る。
- ③ 先輩職員による現場でのOJTを積極的に推奨、後輩職員の育成に努める。
- ④ 中堅職員育成計画の3年目となる今年度は、スキルアップ研修とグループディスカッションをそれぞれ1回ずつ実施し、中堅職員の資質向上を図る。

#### (4) 職場環境の充実・・・**総務部会**

- ① ノー残業デイ(毎週金曜日)を設け、ワーク・ライフ・バランスの充実を図る。
- ② 有給休暇取得 一人当たり10日以上取得を目標とし、また、4日以上連続休暇を年1回以上取得することを目標とする。

#### (5) 効率化・・・**瀬戸口主任**

各作業班の作業マニュアルを再チェック、作業工程や機器導入等により効率化が可能か検討、改善を図る。

**(6) 利用者・家族へのニーズに合わせた質の高い支援の提供・・・野田・生活委①②**

- ① 利用者の個別ニーズを作業・生活両面からの視点で的確に把握し、ニーズに合った短期目標・長期目標を支援計画に掲げ利用者支援の向上を図る。また、権利擁護・虐待防止に関わる研修・虐待防止ハンドブック等を活用した研修等を今年度も引き続き行い、充実した支援体制を確立させる。
- ② 年3回の家族代表者委員会・毎年8月の家族総会・1月の新年会などを通し、家族との連携を深める。また、福祉施策の動向について家族へ情報提供を行う。

**(7) リスクマネジメントへの体制づくり強化・・・野田副施設長**

- ① 年2回の防災訓練と年1回の自主訓練に加え、新たに非常災害時の模擬訓練を年1回実施し、非常事態の備えに対応できる体制づくりを構築する。
- ② 備蓄品(非常食と非常時の設備備品)の定期点検及び補充の実施を行う。

**(8) 就労支援に関する情報収集・強化・・・内田主任補佐**

- ① 引き続き就労移行支援事業についての体制強化を図る。今年度は就労移行支援マニュアルの実施活用を図り、就労希望者のスキル向上に繋げることで、就労者1名の輩出を目標とする。
- ② 旭福祉センター・第二旭福祉センターの双方にある就労継続支援 B 型事業の31年度目標工賃について月額25,000円以上を目標とする。

**(9) 各種作業部門 製販計画の達成・・・作業委員会**

今年度も各作業班別 育成シートの完全実施を重点目標と定め、職員の能力向上を目指す。また、各作業班が策定した製販計画の達成を目指す。

**(各作業班別の重点目標と売上目標)**

作業班	重点目標	31年度目標額
NODOKA	集客率アップ・接客サービス向上・新メニュー開発	6,000,000
楓(菓子班)	人材育成(育成シート活用・利用者スキルアップ)・協力体制の確立	16,300,000
竹工	人材育成シート活用による職員育成・利用者個々のニーズ把握を推進した支援の充実	3,300,000
蔬菜	協力体制の確立・人材育成・地域住民との交流	4,200,000
陶芸	手作り作品の充実と「3K」(軽い・可愛い・重ねやすい)の徹底	1,200,000
施設外就労	各顧客との連携強化・利用者支援の強化・施設外就労の制度理解	4,700,000

メンテナンス	育成シート・研修を活用した人材育成	22,300,000
味噌	育成シートの活用・関係部署との連携	1,300,000
合 計		59,300,000

以上